

# AIでスピーチ原稿を作成する時代が到来

～えっ！まだスピーチ原稿を自分で書いているの？～

ライフデザイン研究部 主席研究員/テクノロジーリサーチャー 柏村 祐

## 1. 効率化が求められるスピーチ原稿の作成

ビジネスの現場において、スピーチ原稿の作成は多くのビジネスパーソンが経験する業務の1つである。スピーチ原稿は、会議でのプレゼン、セミナーの司会、各種合での挨拶など、緊張するシーンで使用されることが多い。そのため、適切な内容と表現を事前に準備し、何度も練習する人も多いだろう。

スピーチ原稿は、正確な情報伝達や時間管理、一貫性のあるメッセージの維持などを目的として、口頭で伝える内容を事前に文章化するものである。効果的なスピーチ原稿を作成するためには、聴衆の理解度や関心を考慮しつつ、適切な用語や表現を選び、説得力のある論理構成を心がける必要がある。さらに、限られた時間内で要点を押さえること、聴きやすいリズムを確保すること、話し言葉に近い自然な文体で作成することなど、考慮すべき点は多岐にわたる。このような複雑な要素を含むスピーチ原稿の作成には、経験豊富なビジネスパーソンであっても時間を要するため、原稿作成の効率化が求められる。

近年、AI技術の急速な進歩により、様々なビジネスプロセスで自動化や効率化が進んでいるが、スピーチ原稿作成でもAIを活用できるようになっている。本レポートでは、ビジネスシーンにおけるAIによるスピーチ原稿作成の可能性と課題について検討する。

## 2. AIによるスピーチ原稿作成の実態

はじめに、AIによるスピーチ原稿作成の実態について、具体的な事例を用いて検証する。今回、取引先の50周年記念式典での主賓挨拶、部下の結婚式での主賓挨拶、そして新入社員に対する入社式での挨拶という3つのスピーチ場面を想定した。これらは、できる限り原稿を読まずにスピーチすることが望ましく、事前に準備した原稿を暗記して挨拶することも多い。今回の実験では、各場面についてAIに原稿作成を依頼し、その結果を分析した。

まず、AIに対して、「医療機器メーカーA社の50周年記念式典での主賓挨拶を作成してください。この会社とは20年来の取引関係があり、特に画像診断装置の開発でも成長してきました」と指示したところ、AIは図表1のような原稿を生成した。

図表 1 AIが作成した50周年記念式典における主賓挨拶のスピーチ原稿

50周年記念式典 主賓挨拶
皆様、本日は誠にありがとうございます。[会社名]様の創立50周年記念式典に出席し、お祝いの言葉を述べさせていただく機会を賜り、心より光栄に存じます。
半世紀にわたり、[会社名]様は業界の第一線で革新と卓越性を体現し続けてこられました。貴社の歩みは、まさに日本の経済成長と技術革新の歴史そのものであり、私どもにとっても大きな励みとなっております。
長年にわたる貴社との取引を通じて、私どもは貴社の真摯な姿勢と高い技術力、そして何より顧客満足を第一に考える企業理念に深く感銘を受けてまいりました。これらの価値観は、ビジネスの世界で成功を収めるための真の基盤であると確信しております。
50年という節目を迎えられた今、貴社の更なる飛躍と発展を心よりお祈り申し上げます。変化の激しい時代にあっても、貴社が培ってこられた強固な基盤と革新的精神を武器に、今後も業界をリードし続けられることを確信しております。
私どもも、貴社の良きパートナーとして、これからも共に成長し、社会に貢献できることを楽しみにしております。
結びに、[会社名]様の益々のご発展と、本日ご列席の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。
本日は誠にありがとうございます。

資料: Claude3 より筆者作成

生成された挨拶文は一般的なものであったため、具体的なエピソードを加えるために、「コロナウイルスの際の患者への迅速な対応やそのことが社会に広く知れ渡ったことによるマスメディアでのご活躍について、具体事例として挨拶文に追加ください」という追加指示を出したところ、AIは図表2のようにブラッシュアップした。ブラッシュアップされた原稿では、コロナ禍における具体的な活動実績や社会貢献について言及されており、A社の特徴と実績をより反映した内容となった。特に、マスメディアでの活動について触れることで、社会的影響力の大きさを適切に評価する内容となっている。

図表 2 AI が作成した 50 周年記念式典における主賓挨拶のスピーチ原稿(ブラッシュアップ版)

## 50周年記念式典 主賓挨拶

皆様、本日は誠にありがとうございます。[会社名]様の創立50周年記念式典に出席し、お祝いの言葉を述べさせていただく機会を賜り、心より光栄に存じます。

半世紀にわたり、[会社名]様は業界の第一線で革新と卓越性を体現し続けてこられました。貴社の歩みは、まさに日本の経済成長と技術革新の歴史そのものであり、私どもにとっても大きな励みとなっております。

長年にわたる貴社との取引を通じて、私どもは貴社の真摯な姿勢と高い技術力、そして何より顧客満足を第一に考える企業理念に深く感銘を受けてまいりました。これらの価値観は、ビジネスの世界で成功を収めるための真の基盤であると確信しております。

特筆すべきは、近年の新型コロナウイルス感染症の流行に際しての貴社の献身的な取り組みです。患者様への迅速かつ適切な対応は、多くの命を救い、社会に大きな安心をもたらしました。具体的には、24時間体制での遠隔診療システムの構築や、自宅療養者向けの健康管理アプリの無償提供など、革新的なソリューションを次々と展開されました。

これらの取り組みは、社会に広く認知され、多くのマスメディアで取り上げられました。[月]月には、貴社の代表取締役[氏名]様が国民的な報道番組に出演し、医療のデジタル化の重要性と今後の展望について語られました。また、[月]月には貴社の遠隔診療システムが権威ある医療イノベーション賞を受賞されるなど、業界内外から高い評価を受けておられます。

このような貴社の社会貢献と革新的な取り組みは、まさに創業以来50年間で培われてきた技術力と企業理念の結晶であり、私どもも深い敬意を表するものであります。

50年という節目を迎えられた今、貴社の更なる飛躍と発展を心よりお祈り申し上げます。変化の激しい時代にあっても、貴社が培ってこられた強固な基盤と革新的精神を武器に、今後も業界をリードし続けられることを確信しております。

私どもも、貴社の良きパートナーとして、これからも共に成長し、社会に貢献できることを楽しみにしております。

結びに、[会社名]様の益々のご発展と、本日ご列席の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

資料: Claude3 より筆者作成

次に、「入社3年目の営業部署に所属する部下の結婚式での主賓挨拶」という設定で、部下の結婚式での挨拶文の作成を依頼した。AIは最初に図表3のような原稿を生成した。

図表3 AIが作成した部下の結婚式での主賓挨拶のスピーチ原稿

部下の結婚式での主賓挨拶
皆様、本日は[新郎名]君と[新婦名]さんの結婚を祝福するためにお集まりいただき、誠にありがとうございます。私は[新郎名]君の上司である[あなたの名前]と申します。
[新郎名]君とは、[年数]年前に彼が我が社に入社して以来の付き合いになります。彼の真面目で誠実な性格、そして仕事に対する熱意と創造性は、私たちの部署になくはならない存在となっています。
[新郎名]君、[新婦名]さん、本日はおめでとうございます。お二人の出会いや交際のエピソードを聞くたびに、運命的な絆を感じずにはいられません。[新婦名]さんの明るい笑顔と温かい心遣いは、[新郎名]君をより一層輝かせ、彼の人生に大きな喜びをもたらしています。
結婚生活は、喜びと挑戦の連続です。しかし、お二人の強い絆と互いへの深い愛情があれば、どんな困難も乗り越えられると信じています。仕事でも家庭でも、お互いを支え合い、尊重し合う関係を築いていってください。
最後に、新郎新婦のお二人の末永い幸せと、輝かしい未来を心からお祈りいたします。どうか健康で幸せな家庭を築き、互いの夢を叶えていってください。
それでは皆様、[新郎名]君と[新婦名]さんの前途を祝して、乾杯いたしましょう。
おめでとうございます！

資料: Claude3 より筆者作成

これについても、具体的なエピソードを加えるために「配属当初は戸惑っている様子もありましたが、徐々に職場に慣れ、今ではチームのリーダー役を担っており、貴重な戦力になっているという誉め言葉を追加してください」という追加指示を出したところ、AIは図表4のようにブラッシュアップした。修正後の原稿では、部下の成長過程を具体的に描写することで、より説得力のある内容となった。特に、配属当初の戸惑いから現在のリーダーとしての活躍まで、時系列に沿った展開により、聴衆の共感を得やすい内容となっている。

図表 4 AI が作成した部下の結婚式での主賓挨拶のスピーチ原稿(ブラッシュアップ版)

部下の結婚式での主賓挨拶

皆様、本日は[新郎名]君と[新婦名]さんの結婚を祝福するためにお集まりいただき、誠にありがとうございます。私は[新郎名]君の上司である[あなたの名前]と申します。

[新郎名]君とは、[年数]年前に彼が我が社に入社して以来の付き合いになります。彼の真面目で誠実な性格、そして仕事に対する熱意と創造性は、私たちの部署になくてはならない存在となっています。

入社当初は、新しい環境に戸惑っている様子も見られましたが、[新郎名]君の努力と適応力には目を見張るものがありました。徐々に職場に慣れ、その能力を遺憾なく発揮するようになり、今では部署の中心的存在としてチームのリーダー役を担ってくれています。彼の成長は目覚ましく、今や我々にとって無くてはならない貴重な戦力となっています。その姿勢と実績は、同僚たちの模範となっており、私も上司として大変誇りに思っています。

[新郎名]君、[新婦名]さん、本日はおめでとうございます。お二人の出会いや交際のエピソードを聞くたびに、運命的な絆を感じずにはいられませんでした。[新婦名]さんの明るい笑顔と温かい心遣いは、[新郎名]君をより一層輝かせ、彼の人生に大きな喜びをもたらしています。

結婚生活は、喜びと挑戦の連続です。しかし、お二人の強い絆と互いへの深い愛情があれば、どんな困難も乗り越えられると信じています。仕事でも家庭でも、お互いを支え合い、尊重し合う関係を築いていってください。[新郎名]君が仕事で見せてくれた成長と適応力は、きっと新しい家庭生活でも大いに役立つことでしょう。

最後に、新郎新婦のお二人の末永い幸せと、輝かしい未来を心からお祈りいたします。どうか健康で幸せな家庭を築き、互いの夢を叶えていってください。

それでは皆様、[新郎名]君と[新婦名]さんの前途を祝して、乾杯いたしましょう。

おめでとうございます！

資料: Claude3 より筆者作成

3つ目の事例として、「従業員数 500 名程度の製造業における新入社員 20 名に向けた入社式での挨拶」という設定で、社長による歓迎の挨拶文の作成を依頼した。AI は最初に図表 5 のような原稿を生成した。

図表 5 AI が作成した新入社員歓迎のスピーチ原稿

<p><b>社長挨拶：新入社員歓迎の辞</b></p> <p>親愛なる新入社員の皆さん、そして列席の社員の皆さん。</p> <p>本日、[会社名]の新たな仲間を迎え入れることができ、大変喜ばしく思います。新入社員の皆さん、[会社名]へようこそ。</p> <p>我が社は、[創業年]の創業以来、[業界や事業内容]において常に革新を追求し、社会に貢献してまいりました。皆さんには、この伝統ある企業の一員となった誇りと責任を胸に刻んでいただきたいと思ひます。</p> <p>[会社名]の企業理念である[企業理念を簡潔に]は、我々の全ての活動の根幹を成すものです。この理念のもと、私たちは日々挑戦を続けています。皆さんにも、この理念を体現し、共に成長していくことを期待しています。</p> <p>新入社員の皆さんには、以下の3点を心に留めて仕事に取り組んでいただきたいと思ひます：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 常に学ぶ姿勢を持ち続けること</li><li>2. 失敗を恐れず、積極的に挑戦すること</li><li>3. チームワークを大切に、互いに高め合うこと</li></ol> <p>私たちは、皆さん一人一人の可能性を信じています。[会社名]という舞台で、皆さんの才能を存分に発揮し、共に新たな価値を創造していきましょう。</p> <p>最後になりましたが、新入社員の皆さんの今後の活躍を心より期待しております。そして、先輩社員の皆さんには、新しい仲間たちへの温かいサポートをお願いいたします。</p> <p>共に、[会社名]の更なる発展と、より良い社会の実現に向けて邁進してまいりましょう。</p> <p>[会社名]代表取締役社長 [氏名]</p>
--

資料: Claude3 より筆者作成

さらに「新入社員に期待することとして、失敗を恐れずチャレンジしてほしいことを追記ください」という指示を出したところ、AI は図表 6 のようにブラッシュアップした。追記された内容により、単なる歓迎の意を示すだけでなく、新入社員への具体的な期待と会社の文化を示唆する内容となった。特に、失敗を恐れないチャレンジ精神の重要性を強調することで、会社の成長志向の文化が効果的に伝えられている。

図表 6 AI が作成した新入社員歓迎のスピーチ原稿(ブラッシュアップ版)

## 社長挨拶：新入社員歓迎の辞

親愛なる新入社員の皆さん、そして列席の社員の皆さん。

本日、[会社名]の新たな仲間を迎え入れることができ、大変喜ばしく思います。新入社員の皆さん、[会社名]へようこそ。

我が社は、[創業年]の創業以来、[業界や事業内容]において常に革新を追求し、社会に貢献してまいりました。皆さんには、この伝統ある企業の一員となった誇りと責任を胸に刻んでいただきたいと思ひます。

[会社名]の企業理念である[企業理念を簡潔に]は、我々の全ての活動の根幹を成すものです。この理念のもと、私たちは日々挑戦を続けています。皆さんにも、この理念を体現し、共に成長していくことを期待しています。

新入社員の皆さんには、以下の4点を心に留めて仕事に取り組んでいただきたいと思ひます：

1. 常に学ぶ姿勢を持ち続けること
2. 失敗を恐れず、積極的に挑戦すること
3. チームワークを大切に、互いに高め合うこと
4. 新しいアイデアを積極的に提案し、イノベーションを起こすこと

特に強調したいのは、失敗を恐れずにチャレンジする姿勢です。私たちの業界は日々変化し、新たな課題が次々と現れます。こうした環境下では、従来の方法だけでは通用しません。皆さんの新鮮な視点と斬新なアイデアが、会社の未来を切り開く鍵となるのです。

失敗を恐れずに挑戦することは、個人の成長だけでなく、会社全体の発展にもつながります。たとえ結果が思わしくなくても、そこから得られる学びは必ず次のステップにつながります。私たちは、皆さんの挑戦を全力でサポートします。

私たちは、皆さん一人一人の可能性を信じています。[会社名]という舞台上、皆さんの才能を存分に発揮し、共に新たな価値を創造していきましょう。失敗を恐れず、大胆に、そして情熱を持って挑戦し続けてください。

最後になりましたが、新入社員の皆さんの今後の活躍を心より期待しております。そして、先輩社員の皆さんには、新しい仲間たちへの温かいサポートと、彼らのチャレンジ精神を育む環境づくりをお願いいたします。

共に、[会社名]の更なる発展と、より良い社会の実現に向けて邁進してまいりましょう。

[会社名] 代表取締役社長 [氏名]

資料：Claude3 より筆者作成

以上の結果から、AIは各場面の特性を理解し、適切な内容とトーンをもつ原稿を作成する能力を有していることが確認された。さらに、適切なキーワードを提供することで、AIはより洗練された、場面に即した原稿を作成することが可能であることも明らかになった。もちろん、AIによる原稿作成はあくまでも準備の一助であり、最終的には人間の感情や経験を反映させ、聴衆との共感を生み出すよう工夫する必要があることは言うまでもない。

### 3.スピーチ原稿作成における人間とAIの新たな協働モデル

AIの能力が日々進化するなかで、人間とAIの協働により、より効果的かつ効率的なスピーチ原稿作成が可能となっていくだろう。この新たな協働モデルは、AIと人間それぞれの強みを活かした革新的なアプローチを提示している。

図表7 人間とAIによる新たなスピーチ原稿作成協働モデル



資料:筆者作成

図表7が示すように、AIと人間はそれぞれ異なる強みをもっている。AIは情報処理、構造化、初稿生成に優れており、人間は創造性、感情表現、経験にもとづく洞察を提供することができる。この両者の特性を組み合わせることで、より高度なスピーチ原稿作成が可能となるだろう。この協業における新しいワークフローは、AIによる初稿作成から始まり、人間によるレビュー・編集、そしてAIによる改善という循環的なプロセスからなる。AIを活用する際には、適切なプロンプト（指示）を与える人間の能力が重要となる。たとえば、2節で述べたように「コロナウイルスの際の対応」や「失敗を恐れずチャレンジしてほしい」といった具体的な指示を与えることで、AIはより場面に即した原稿を生成できる。このような指示能力を人間が磨くことで、AIとの協働をより効果的に進めることができるだろう。

一方で、AIが生成した原稿をそのまま使用するのではなく、スピーチする人間が内容を十分に理解し、自分の言葉で表現できるようになることも重要である。AIは効率的な原稿作成の支援ツールであり、最終的には人間の感情や経験を反映させ、聴衆の共感を生み出すことが求められる。

また、AIを活用する際には倫理的な配慮も重要である。AIが生成した内容に対しては、常に人間による監修が必要であり、偏見や不適切な表現がないか、事実関係は正確か、著作権に抵触していないかなどを慎重に確認する必要がある。

つまり、AI時代のスピーチ原稿作成では、新しいスキルセットの獲得が求められるのである。AIとの効果的な対話能力、AIが生成した原稿の批判的評価能力、AI生成コンテンツの倫理的・法的問題の識別能力、AI生成原稿の人間らしい表現への変換能力などである。これらのスキルを磨くことで、AI時代のスピーチ原稿作成はより高度で効率的なものとなり、質の高い、説得力のあるスピーチを行うことができるようになるだろう。

これからのAI時代のスピーチ原稿作成は、「えっ！まだスピーチ原稿を自分で書いているの？」といわれるような、AIと人間の新たな協働モデルへと進化していくだろう。この協働モデルは、創造的で洞察に富んだスピーチ原稿を効率的に生み出す力をもつ。同時に、人間の役割も進化し、AIとの効果的な協働やAIが生成した内容の適切な活用、そして実際の活用場面でのスピーチ力の重要性が相対的に増していく。今後、ビジネスパーソンには、AIの強みを最大限に引き出しながら、聴衆の心に響くスピーチを作り上げ、それをしっかりと語る能力が一層求められることになるだろう。